



生命誌の広場

テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」 ▶
- 研究について ▶
- 季刊「生命誌」 ▶
- 展示・映像 ▶
- その他 ▶

あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

最新のお返事

- 2019年10月02日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日
[この夏一番元気だったものは？](#)

最新のご意見

- 2019年09月27日
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日
[原爆について](#)
- 2019年09月05日
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日
[この夏一番元気だったものは？](#)

過去の書き込み

2019年 10月
GO

みなさんからのご意見



中村桂子の「ちょっと一言」

「水と生命の世紀」をどう作っていくか

投稿日：2016.06.25 ニックネーム：ゆたか

五月の水俣病60周年記念講演会でけいこ先生の講演を聞きました。生命に関して、何を追求していくべきかという学問への姿勢に感銘を受けました。最近、家で昔気になってとっておいた切り抜きに「火と機械の世紀」から「水と生命の世紀へ」という、たぶん岩波の図書だと思います。二十世紀とは何だったのか、という特集のインタビュー記事を見つけました。先生は最後のところで、原爆の落ちた広島に夾竹桃が咲いたことを書かれています。その後、福島原発事故があり放射能にやられて商品としてはダメになったが、しぶとく生きる生物たちには、38度線と似た部分もあると感じました。21世紀になり、決していい方向にばかり向かっていないことも頭に置き、いかに「水と生命の世紀」をつくっていくのか、私は定年まであと三年半の教員ですが、中学生と共に考えて行きたいと思います。また、ご教示ください。

お返事

投稿日：2016.06.28 名前：中村桂子館長

中学校の先生が生徒さんと共に真剣に21世紀を考えて下さるのは、本当に大事なことだと思います。20世紀は、人間が生きものである（いのちをもつものである）というあたりまえのことを忘れて過したように思います。その結果、世界中が普通の人にとって暮らしにくくなってしまった。皆が普通に暮らせる社会を次の世代に渡したいと願っています。またメールを下さい。



新着情報



[10月19日生命誌オープンラボ \(19.10.01\)](#)

[10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会\(19.10.01\)](#)

[昆虫脳の標本展示が登場！\(19.10.01\)](#)

[パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始\(19.10.01\)](#)

[あくあびあ芥川とスタンプラリー開催\(19.10.01\)](#)

